

地域に根ざしたダンス活動 都道府県ダンススポーツ連盟の動向

協力：公益社団法人 日本ダンススポーツ連盟

国体デモスポ参加に向けて 鹿児島県ダンススポーツ連盟副会長 中野久美子

3月17日は、九州ダンススポーツ競技会鹿児島大会でした。来年は鹿児島県大会があり、ダンススポーツは4月に国体デモスポとして、また11月には、都道府県対抗全国大会も鹿児島市であり、ダンススポーツで盛り上がる年になりそうです。

その準備のためにも今回の競技会では、2面フロアでの競技を体験してもらったため、ねんりんピック選手権、シニア戦、ジュニア戦を交えて30区別の開催となり、競技に出たことのない方も巻き込んで、競技会に慣れてもらおうと開催しました。

ただ観客が多くないと盛り上がりがないので、事前の告知にも力を入れました。

まずは各新聞社やテレビ局に、競技会開催の告知・取材依頼のメールやフリップを送り、掲載の許諾をもらいました。

最後に2月24日(日)には、鹿児島県連創立20周年記念式典と大舞踏会を県内外の多くの来賓をお迎えして、藤井創太・吉川あみ組をゲストに盛大に開催、これまで支えてくださった会員の皆様と一緒に祝うことが出来ました。

これからは、高齢化に伴う会員減少に備え、若者にとっても魅力ある興業であるように、常にいろんなことに挑戦して、情報発信していきたいと思っています。

テレビ局や新聞社を訪問しました。

結果、NHK鹿児島放送局では、正午と夕方7時から全国ニュースの前のローカルニュースの中で、ダンスの写真やポスターを使って告知して頂きました。また、また地元テレビ局でも週末お出かけ情報で放送して頂き、ラジオでは、前日朝の番組で、生出演で、ダンススポーツのことを説明、競技会の見所などお話をさせて頂きました。また新聞社では、スポーツ欄や催し欄などに記事が掲載され、反響がありました。

また、選手増については、サークルから若い理事を出すことによって若い人の感覚で情報発信、若い人を中心に新しいサークルを作って選手が育ち、フェイスブックなどでも一緒に活動してくれる強い選手兼理事も増え、若者の参加が多い大会となりました。若い選手が多いとお友達も若いので観客も若く若い層が増え、またジュニア選手が多いと保護者と親父母まで応援に来るので、観客層に厚がり、にぎやかな大会となりました。

競技会当日は競技初心者も多く、2面フロアに慣れずに出遅れたり、何回も叫ばれる選手がいたり、次の競技会に向けて練習する課題も見つかり収まりがありました。

当日は私もスタッフ兼選手として忙しく、午前中のラテン競技が終わる、急いで着替えたところで、テレビ局の取材の方がいらして競技会について質問に答えていたら、午後の競技が始まり、練習も食事も出せずにスタンダート1次予選へ、踊り終えるのを待つって撮影がありました。

競技会の放送は、当日夜、ローカルニュースにも流れるところで放送され、とても嬉しい思いで拝見しました。ジュニアの選手の踊るところやコメントも入っていたので、かなり宣伝効果があったのではと思います。

でもラジオやテレビは、見ない方も多く、出来るだけ多くの方に見て



九州ダンススポーツ競技会鹿児島大会の様子がTV放送

ただけるようにラインやフェイスブックなどにも掲載して広報するようにしています。

また、私自身が競技選手としてサークル指導することで、競技への敷居が低くなり、選手も増えているので、これからも競技の楽しさを伝えていければと思います。

鹿児島県ダンススポーツ連盟としても、選手の育成、普及のためにもプロの先生方とも協力して、来年や国体デモスポに向けて、ブレ大会や



九州ダンススポーツ競技会鹿児島大会の模様をTV放送

ダンスは健康を維持できる 最高のスポーツのひとつ！

日野市ダンススポーツ連盟事務局長 佐藤昌子



競技会でルンバを踊る中村直樹・中野久美子組

不動の一つ、「高齢不動態を改善」は、新選組副長「土方歳三」の菩提寺でもあり、京王線高幡不動駅から徒歩2分、3分という駅近な観光名所となっています。

NHK全国学校音楽コンクールで、今年を含めて6年連続「全国合唱コンクール金賞」を受賞して日本一に輝いた、日野市立七生小学校(ななせ)の小学校合唱団は、私たちが市民の合唱団でもあります。日野市は、歴史と住みやすい街なのです。

日野市ダンススポーツ連盟では、地域を活性化させるために、ダンスを通じて、

深い、毎月1回開催する定例理事会で報告、意見交換等、活発に発言して、より良い活動内容を目指しています。

平成10年、日野市体育協会に加盟してダンススポーツの楽しさ、パーティーの華やかな催し、練習に汗を流しながら、音楽に合わせて踊れるようになる楽しさ面白さを、若い人たちに伝え、ダンス人口を増やしたいと日夜努力しています。

ヒップホップ系の激しく身体を動かすダンスが流行しており、テレビで頻繁に見られますが、誰でも踊れる社交ダンスは、気楽に楽しく美しく、やかに、高齢者も屋内で健康を維持できる最高のスポーツのひとつと、理事役員一同頑張っています。

毎年行なう4回(5月春季、9月「市民ダンスの集い」、11月秋季、1月新春)の各パーティーでは、日野市体育協会の活動の一環として、広い

会場を優先的に予約できます。

その中の9月に開催します「市民ダンスの集い」では、毎年250名ほどの参加者があり、豊かな構成内容や会進行に、大変好評をいただいております。日野市長、日野市教育長、日野市商工会会長代理、日野市体育協会会長、近隣の連盟会長さんたちも臨席され、パーティーゲームと一緒に参加しながら、ご公務の合間にパーティーのハイライトを彩っていただいております。他にも、抽選で会場を確保できたときには、小規模なパーティーを開催して地域の皆様との親睦を深めております。

平成元号の最後、令和元号の幕開けという節目の年に、投稿できましたことを心から感謝しますとともに、これからも日本ダンススポーツ連盟、東京都ダンススポーツ連盟のますますの御発展を祈念申し上げます。



マンボでじゃんけんゲーム



競C前で個人レッスン

